

学校だより

NO. 68

H28. 12. 2(金)

(2016年度)

あけの

学校教育目標

心身ともに健康で、個性豊かな
実践力のある子どもの育成

めざす 「かしこく」 様々なことに興味・関心を持ち、自ら学び、考え、正しく判断し行動できる子

子ども像 「心豊かに」 自分を大切にするとともに、友だちなど自分以外の人も大切に思い、つながりあって行動する子

「たくましく」 健康や体力の向上維持に努め、めあてに向かって粘り強くやりぬく子

めざす学校像 子どもが喜んで通う学校、子どもがつながりあって活動する学校、子どもに確かな学力が身につく学校

ホームページ <http://www.ise-mie.ed.jp/~akeno-e/>

編集・発行 校長 中村幸博

人権集会、開催！

11月は、いじめ防止強調月間、児童虐待防止推進月間です！
11/11(金)～差別をなくす強調月間です、～12/10まで

学校公開デーの午後 です。

前号に続き、学校公開デーの午後のような紹介です。今年度は三重県の車椅子バスケットボールチーム「チャリオッツ」のメンバーで津市役所にお勤めの、前田浩司（まえだ ひろし）さんを迎え、子どもたちに「障がいをもった方への偏見やまちがった見方考え方をしないで」ということを話していただきました。

義足ははずし、熱く語る前田さん(右)体育館の様子(下)

子どもたちも真剣に集中して、話に耳を傾けていました。どのクラスも、講演後に感想を交流したり、書いたりして、自分の思いと重ねる学習がなされ、すばらしいと思いました。



「決めつけないで」 6B 阿部真衣佳

学校の人権集会で車いすバスケットの監督をしている前田さんという方に話をしてもらいました。前田さんは足を電車にひかれ両足を失っています。だから義足をしながら車いすで生活をしています。そんな前田さんの話の中で一番心に残った言葉は「障害者だからできないと決めつけないで」という言葉です。

私は車いすに一人で乗っている人を見かけたとき、一人で大丈夫かなと思ってしまいます。それは、障害者だからできないと「決めつける」ことになっていると思います。だから前田さんの話を聞いて、障害者をみただけで何でもできないと決めつけるのは本当にいけないなと思いました。前田さんみたいに両足を失っているながらも、車いすバスケットをしている人もいますし、障害を持っていても勉強ができる人もいますので、これからは「決めつけない」ということを大切にしていきたいと思います

人権集会の感想・・・ 5B 山口竜司

両足をなくしてとても悲しかったと思う。夢もほぼの確率で叶わなくなってしまうかもしれないし、どんなこともやりにくくなってしまってもいい。ぼくはそう思っていたけどちがった。前田さんは「しょうがい者もいろんなことができる。」と言っていた。だから、しょうがいがある人もない人もかわらないんだと分かった。



その後、人権標語の表彰・発表（前々号で紹介）と「明野小区を花で優しくしよう～一人一鉢運動～」の贈呈を私から児童会代表に行いました(写真左)。これは、花が少なくなる秋～冬に小学校児童のいる家でパンジーを咲かせ、明野小区を明るく、優しくしようという7年続く活動です。みんな、春まで大事にパンジーを咲かせて下さい。



赤い羽根募金、小俣社会福祉協議会へ！

学校公開デーの日を中心に、児童会本部・代表委員が行ってきた「赤い羽根共同募金」を11/22(火)に小俣社会福祉協議会へ届けに出かけました。鈴木児童会長以下本部4名と担当・中村・平井両先生が出向き、馬瀬会長に手渡しました(写真左)。年末年始の福祉活動の一部に使われることでしょう。ご協力ありがとうございました。

PTA三校親睦行事、開催！

同じ日の夜、小俣地区三校PTA親睦行事「ソフトドッジボール」が今年度の当番校・明野小体育館で行われ、明野小はたくさんの保護者・子どもたちの参加がありました(右)

昨年度、キンボールで2位になり、今年度は優勝を目指しましたが、惜しくも優勝決定戦で小俣小に敗れ、2位となりました。右上の石でできた立派な優勝盾は、小俣小へと移りました。また、来年…ですね。

子どもたちも数多く参加してくれて、試合の合間に、子どもたち同士で楽しくドッジを2回しました。良かったね。

閉会式で優勝盾を林会長から小俣小P会長へ(右)



すてきな作文を…紹介！

明野小では、子どもたちはたくさん文を書きます。何が行事や活動があるとその感想や思いを、夏休みが終わるとその思い出を絵日記風に、など。その中で、6Cでは、自分の生活の一部を切り取り、その時の心がどうふれたか、体がどう動いたかなどを思い返しながら「つづる」活動を繰り返しています。今までに23号発行されており、どれもすてきですが、先日とてもすてきな文の一葉に出会いましたので…紹介を。担任の濱田先生の一言もすてきですよ。

明野小 六年生 鈴木山峻介

たんじょうびだった。

今日はお母さんのたんじょうびでした。でもお母さんはプレゼントをなにもいらぬと言っていました。そして夜ごはんは、手まりずしだったのでうれしかったのしかった。

日記を出した日の昼休み時間、濱田先生は左の手首を動かして、

「りようすけ。」

とよびました。その時ぼくは、おこられるのかなと思いましたが。近くまで行くと、先生はぼくの日記を見せて、

「なんでお母さんはプレゼントいらぬって言ったん。」

と聞きました。ぼくは、

「しらん。」

とこたえました。先生は、

「じゃあ、それをお母さんに聞いて。」

と言いました。ぼくは、めんどくさいなと思いましたが。

家にかえってからお母さんに言うのをわすれていて、夜ごはんを食べおわってから、聞くのを思い出しました。

「そいうえば先生が、なんでプレゼントがいらぬか聞いてきて。」

と言いました。お母さんは、ちよつとわらいながら、

「いつも子どもたちが元気だえがおでいてくれることがなよりのプレゼントだから物はいらぬよ。」

と言いました。

保護者のみなさまへ：「あなた(子ども)のことが大事だよ」「あなたが元気だと幸せなんだよ」伝えてくれますか？思っているだけじゃなく、時々言葉で伝えてあげて下さいね。ちよつぱり反抗期を迎え始める六年生でも、まだまだ聞きたい宝物のような言葉です。(濱田)